

1 SDGs委員って何をするの？

SDGs委員の役割ってなんだろう？	14
これまでの活動を知ろう！	16
新しい活動を始めよう！	18
活動内容をまとめよう！	20
いろいろな学校の活動を見てみよう	22
自分たちの活動を伝えよう！	42
コラム デモに参加して発信するには？	44



2 やってみよう！ 実践アイデア

異年齢活動で支援しよう	46
ブックマーケットで本をリユースしよう	48
職業のなかの「ジェンダー」を調べよう	50
節水を呼びかけよう	51
うちねをつくって節電を呼びかけよう	52
カードゲームで貧困を体験しよう	54
防災マップで安全なまちづくり	58
地域らしい生き物の飼育づくり	60
選挙を体験してみよう	62
SDGsクイズラリーを行おう	64
コラム 社会を変えた人たち	66



3 学校全体でSDGsに取り組もう！

さまざまな委員会活動がSDGsにつながる	68
【生活委員会】あいさつ運動で資金も呼びかけよう	70
【給食委員会】食べ残しを減らそう	72
【緑地委員会】グリーンカーテンをつくろう	74
【保健委員会】手洗いや飲水のポスターをつくろう	76
【文化委員会】地域の古いお話をしよう	78
【運動委員会】プロボクシング大会を開こう	80
【放送委員会】SDGsクイズを放送しよう	82
【図書委員会】図書館で勉強会を開こう	84
コラム SDGsの本を読んでもよう	86



4 地域や社会に活動を広げよう！

自分たちの活動をたくさんの人に伝えよう！	88
活動について発信する方法を考えよう！	90
共感してくれる人といっしょに活動しよう！	92
だれと協力するとどんな活動ができるかな？	94
もっといろいろな取り組みに参加したいと思ったら	97
いっしょに活動する仲間をもっと増やそう！	98



5 世界とのつながりを考えよう！

どんなSDGsの目標とつながっているのかな？	100
目標1 貧困をなくそう	101
目標2 飢餓をゼロに	102
目標3 すべての人に健康と福祉を	103
目標4 質の高い教育をみんなに	104
目標5 ジェンダー平等を實現しよう	105
目標6 安全な水とトイレを世界中に	106
目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	107
目標8 働きがいも経済成長も	108
目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	109
目標10 人や国の不平等をなくそう	110
目標11 住み続けられるまちづくりを	111
目標12 つくる責任 つかう責任	112
目標13 気候変動に具体的な対策を	113
目標14 海の豊かさを守ろう	114
目標15 陸の豊かさを守ろう	115
目標16 平和と公正をすべての人に	116
目標17 パートナリシップで目標を達成しよう	117
コラム みんなの行動で世界は変えられる！	118
コラム SDGsで発信するときの気をつけること	120
コラム 楽しく活動するには？	121



印刷物の使い方	122
製版	124

さくいん	143
------	-----



制服をリユースする

学校の卒業生から制服を集めて、制服を必要とする生徒に貸すという取り組みです。もともとは、保護者会が行っていた活動でしたが、保護者の影響で、保護者が学校に来ることも難しくなったことをきっかけに、保護者会と「EARTH」のコラボ企画としてプロジェクトを行っています。



制服のイラストに、リユースの案内がのってると、校のウェブサイトを通して。



集まった制服サイズや種類でセレクトして、袋に入れて貸せるようにした。

保護者会と協力したからこそ実現できた取り組みだね！
制服は、全部でおおよそ200人の生徒に貸したんだって！



タイの子どもたちに文房具を届ける

会場を設けた「まだ届くことができるけど終わってしまった文房具」を集めて、タイの子どもたちに届けるプロジェクトです。集まった文房具は、種類ごとに仕分けして、ひとつひとつ使えるかどうかを確認してから、必要としている人たちに発送します。



文房具の回収日は、全校生徒が集まるやすい場所である、校の広場に設けられた。その結果、ボールペンやシャープペン、クレヨンなど多くの文房具が集まった。



地域のラーメン店をSDGsの視点からプロデュース

地域の企業と協力して、ラーメン店の経営のなかでSDGsに取り組みプロジェクトです。「EARTH」は、企業から要望があった取り組みを実現する方法や、宣伝方法について考え、提案しました。フェアトレードコーヒーやエデュレシ（栄養価が高い小麦粉）が入っているケーキの提供、生ごみを回収する取り組みなども行っています。ラーメン店の宣伝をしつつ、SDGsについても発信する冊子を作成して配布しました。



ラーメン店をプロデュースした「EARTH」のメンバーと先生。



中ページは……

最終のページに活動報告として、活動した子どもたちがどんな活動で、どんな活動をしているのかを掲載した。

ラーメン店でどんな取り組みを行っているか紹介した冊子。表紙は、学生が考えたことがわかるように学園風のデザインになっている。



ラーメン店の人とはレモネードやコーヒーの取り組みを行うお店で出会ったんだって！活動が新たな活動に結びついたんだね！

こんな目標の達成につながる！

制服のリユース

目標 12 P112

終わらなくなったものを再利用するのではなく、いざという時に「リユース」を行うことは、ごみを減らすことになる。

文房具を届ける

目標 8 P106

文房具を届けることは、子どもたちが勉強をしたら、学校に送ったらずるための支援になる。

ラーメン店のプロデュース

目標 12 P112

ラーメン店や企業などさまざまな人と協力することで、パートナーシップを築くことの大げんかを体験することができ。

ブックマーケットで本を リユースしよう

たくさんの人から読まなくなった本を集めて、読みたい人が持ち帰れる無料のブックマーケットを開きましょう。本をリユース（再利用）することで紙の資源のむだ使いを減らすことができます。

本を必要とする人に届ける

ブックマーケットは、読み終わった本や捨ててしまおうと思っていた本を再利用することができる取り組みです。自分にとっては読み終わった本であっても、だれかにとっては読みたい本かもしれません。捨ててしまはずの本をだれかに譲りてもらえたら、本のリユースにつながります。

本を読みたいけど
おこづかいが足りなくて
買えないという人にとっても
新しい本と出会う
チャンスになるね！



本を集める

学校や市内施設で呼びかけて、本を集める。集まった本は、先に相談して学校内で保管させてもらう。

チラシには、本を集める目的を書く。

届ける場所や時期がわかるようにする。

イラストを入れて、楽しく読めるようにする。

ポイント

よコレでいたり、やコレでいたりして読みたい本は回収しないなど、注意書きを書いておく。



分類する

集まった本は、内容を確認して分類し、ジャンルごとに並べて陳列に入れる。ジャンルの標識には、見出しの欄を入れる。



「タラップまきポップ」のやり方（ページ12）を参考にしよう。

見出しとポップをつくる

見出し
本を入れた箱をつかったときに似た図がボールの横の線なども使う。表裏両面を貼って見出しをつくる。

ポップ

オスメの本の横には、ポップをつくる。ポップには、タイトル、著者名、本のジャンル、あらすじやオスメする理由などを書く。



表裏両面に本のジャンルと、そのジャンルの説明を書いてはる。

開催を知らせる

いつどこでブックマーケットを行うのかについて、直接や電話でスターやチラシ、校内放送などで学校のみんなに知らせる。

ブックマーケットを開く

体育館などの広い場所を借りて、本を並べる。荷は、人が通りやすいように、高いのをあけて並べるようにする。机の上にも本を入れた箱を置く。



箱をつくる



本を入れた箱に、つくった見出しやポップをつける。

図がボールの横には、好きな色の紙を貼る。

この作りかたが、どんなSDGsの目標とつながるのか、わかるようにアイコンを貼る。

本があまったら……

学校や市内の図書館に寄贈できない本は相談する。また、図書館に問い合わせたら、お金を貸すこともできる。あまった本を売ってしまうか、図書館どこに寄贈するのかなど、本を集めるときにみんなに伝えておくようにする。

こんな目標の達成につながる！

質の高い教育をみんなに

目標4 P104

無料のブックマーケットを開くことで、新しい本を読む機会が増えることにつながる。目標4への取り組みになる。

つくる責任 つかう責任

目標12 P112

読まなくなった本を捨てるのではなく、必要としている人に届けることは、資源を大切にすることにつながる。

地域のごみ拾いをしよう

清掃活動などを行う美化委員会では、地域のごみ拾いをしてみましょう。
地域の環境がよくなることは、住み続けたいまちづくりや、
海の環境を守ることに繋がります。

まちや海をきれいにする

まちや海のごみが集まることでどんな問題が起きているのか調べましょう。また、自分の住むまちのごみ問題について地域の役所へ相談に行きましょう。課題がわかったらその原因を考え、解決方法を話し合います。委員会のみんなでごみ拾いをすることは、ごみ問題の解決方法のひとつです。

分別や注意点を確認する

ごみの分別ルールや、ごみ拾いを行うために必要なもの、拾うときの注意点を事前に確認しておこう。



お掃除の準備が完了。

ごみ拾いを行う

場所は、動きやすい場所や、ケガなどに注意してごみを拾う。SDGへの取り組みなどから、安全な場所を選んで、安全ピンでつなぐ。場所についたら、ごみを拾っているときや方法も覚えておくといいですね。



ゼクセン
SDGにベンと委員会と活動の場を
創り出す安全なまちづくり。これは
SDGの目標4に繋がります。安全な
まちづくりは、安全なまちづくり
です。

ごみ拾いをする場所を決める

ふだんの生活の中で、まちのどんな場所にゴミが
落ちていたかなど、思い出しなが話し合う。



ごみ拾いの注意点

- ・ごみは必ず持ち帰る。
- ・袋を持ってゴミ箱まで持って行く。
- ・ゴミの種類によって、袋を分ける。
- ・拾ったゴミは、ゴミ箱まで持って、袋をゴミ箱に入れる。
- ・拾ったゴミは必ず持ち帰る。



まちなかで
清掃活動の場では、
自転車やバイク、
歩行者などに注意して
行おう。



川や海で
ゴミなどのゴミを拾う
ごみ拾いの場では、
ゴミを拾うとき、
必ずゴミ箱に
入れてください。

ごみでつくった アート作品を展示する

ゴミでつくったアート作品を展示する。ゴミは、自然の中で自然に分解され、海をよぎったり、
海の生き物が食べて死んでしまったら、問題
となります。

拾ったゴミでアート作品をつ
くって展示すると、ゴミの多さやゴミの種類を
知ってもらうことができます。また、集まったご
みの写真や、ごみ問題についてまとめたポスターな
どをいっしょに展示すると効果的です。



アートに使えるものを選び、きれいに洗ってからのぞく。
使いやすさや、色や形で選ぶ。

作品をつくって展示する

はさみやペンで好きなアートを
つくって展示すると、ゴミの多さやゴミの種類を
知ってもらうことができます。また、集まったご
みの写真や、ごみ問題についてまとめたポスターな
どをいっしょに展示すると効果的です。

自然に分解され、海をよぎったり、
海の生き物が食べて死んでしまったら、問題
となります。

ペットボトルのキャップなどの使い
ごみは、自然に分解され、海をよぎったり、
海の生き物が食べて死んでしまったら、問題
となります。

海辺にはこんなゴミが落ちています!!



つくった作品を展示して、学
校内のみんなや保護者、地域
の人に知ってもらう。ごみ問題
について考える機会になる。

こんな目標の達成につながる!

地域のごみ拾い

目標 11 P111

ごみ拾いの場では、ゴミが自然に分解され、海をよぎったり、
海の生き物が食べて死んでしまったら、問題
となります。

ごみでつくったアート作品

目標 11 P111

アート作品を展示することで、学
校内のみんなや保護者、地域
の人に知ってもらう。ごみ問題
について考える機会になる。



まちや海辺に落ちて
いるごみ拾いには、
ゴミ拾いを減らすには
どうしたらいいか。
考えることも大事だね

性別についてのアンケート

職業

性別

男・女・その他

代表者の性別

男・女・その他

職場で性別を理由に、不平等を感じたこと、または、得をしたと感じたことなどがあればお書きください。



節水ポイントカード

名前
